織の作につき協議してゐるが廣東 いて質質上の中央政府な魔東に協
國氏が中心さなり連日臨時政府組 執 影委員な魔東に召集し大會な開
「香港十四日發」陳濟榮、古顧芬 (鵬」孫科氏、擁立して声京の中央

日

中央執監會議を

廣東に召集

廣東反蔣派の畫策

來る十

八日

東北軍以外の一切の軍事機關は直。家を一為千里に密議する事さなつ天津震尉。向け、軍艦統一の登め、開會式を一兩日延期 - てこれ等議『三平特電十五日發』献記念能は「提家が山磯の育様で鎌定の十五日

閉鎖命令

軍々事機關

は さして集中せしめ命令一下直に出 しさ等へられてるた孫、 海原単は になった、 父天津に在る擴大會議 になった、 父天津に在る擴大會議 であれてるた孫、 海原単は を受けることに決定した。

汪精衛氏

兩廣軍前進開始

に難して決して即時曖奪を置する は揺齲の必要はないものである。 名で養養した不平等條約廢棄實言 闘が斯か二決議を養表したと知られた終受したもで較又手交される事となつた、右は各國 て各國もこれを終受しても反較又手交される事となった。右は各國 て各國もこれを終受しても反較又手交される事となった。 は揺齲の必要はないものである。 とのでなく単に國民な代表する會国南京特電十五日盤 国民金融の ものでなく単に國民な代表する會

大藏省所管

見た得て午後五時半該會した

減すること(専覧局田業 真を除るこ共に現人員数の一割以上を るこ共に現人員数の一割以上を 事質局、税關、税務監督局、

うき見られてなる

行機での魔鬼攻撃は不可能であら魔鬼まで、片道五時間餘させば飛

中央軍の機先を制し

招電決定

陳濟棠氏聲明

高 に開催すべしさ命令した、これは ・ 孫駿英、 花友三軍の駐港戦車 虚取

俸は

國民會議

多分六月、

る實施

は廃止

「信夫博士滿鐵訪問 五二午前十時滿鐵に大平歐線表以下を膨間し校撈が為した不可談線表以

- 容組織を改めて人員を減少酸造試験所はそのまゝさなす

司法官

は俸給令改正

閉會式

出立したる上蔣介廷氏を発験したという。

東出動の命令が下つたさの説が高東出動の命令が下つたさの説が高

廣東へ航續不能

電点十五日發』天皇陛下には 十五日正午帝國學士院櫻井院長 姉崎幹事外會員一同並に本年の 思賜賞受賞者、學士院賞受賞者 を宮中 種間に召され開院元帥 を宮中 種間に召され開院元帥

か

各國に手交

即時廢棄を宣

せず

大分二區補選

保護に陸軍所管につき左の処き意 電販に聯令江水主部委員以下軸佐 電販に聯令江水主部委員以下軸佐 では、大学のでは、「大大戦者関

午餐を賜ふ

午後最後の本會議を開いて審議が 表出席告別の下に既兵式な撃行し 表出席告別の下に既兵式な撃行し

曜代會十八日午前院会

八日午前即會式へ學にす

重光代理公使

けふ王氏と會見

大藏、

陸軍の整理

行整委員會の意見

る事でなった

學士院會員に

孫軍と共に戰機を待つ

順德に集中

漢線方面にて火蓋切られる模様でついあるので恐らく本月中には平

劉軍移動開

め立てなする機利はない。

反蔣通電

十日ころ張粤

國會で緊急動議を

可決

反逆を討伐

た頭端とた存は明かに聴寒紫神敷 かいい かいかい かいかい 和空れ一か完成すべして

て電話された

もので國會の名か以

- 日頃反蔣涌電ル

日五十月五

界 本 株 人 行 設 二 間 口 山 人 間 胡 鉱 太 庄 下 山 三 人 慰 印 吨 市 一 州 町 岡 全 東 市 西 五 大 世 昭 日 別 孫 社 會 女 读 所 行

の誤植だった「敵ながら天喘」 大變な誤植があつた。文章の中 槌がないさいはれてゐる(今で 西洋の本や新聞には割合に誤 交句が飛び込

やうな私の原稿で、誤権の告続と木總系た職人で吐き出し のを忘れて版に組んでしまつたすために叩いた文学を取除ける

つて、資本輸出主

る」ここだつた。あの控襲たるこれへば交空通り「人民を権る無話は飛ぶが、もこは権民政策 た。戯が無人の新天地に乏しくで埋められるまで人間を確つけて埋められるまで人間を確つけてメリカ大陸がさもかくも自人

これはライノタイプの調子を試

極民を林業され得いた子百萬のB に相違ない土地―――― 年々二十萬の日本人を輸出して 日本人々口

民國の一部 る所以はそ

地を奪ふここだったが を関家の輝出地域の でとれて とれることだったが なった「中 の共同占領 地では、特 か今のは人 る。オー・イである。

電信新契約の正式調印は闽民會議一つた際は、佐世保、長崎、上海州海底、底電信契約も假調取・る手管さな京、漢四事代照衡金解決文交換、ここ、なり同時に蘇慰、淡水間海京・黄四事代照衡金解決文交換。ここ、なり同時に蘇慰、淡水間海

滿洲視察

南京鐵道代表

いかに中華民國でも、純然たる風な特徴も衝嫁せればなられる。風な特徴も衝嫁せればなられる一理結び者たる東印度會社式の古理結び者にる東印度會社式の古

外國市民の會社に、自國の統治 株型になっている。 は行くまい。 古殿な特種を失ふ は行くまい。 古殿な特種を失ふ は行くまい。 古殿な特種を失ぶ

る植民政策

植

を 銀色気性」の問題も、つまりを 銀色気性」の問題も、つまり

日支電信契約は

滿鐵重役會議

愈よ近く調印

南京、漢ロ兩事件解決文も交換

内地小學教員の

初任給減額

教育費の整理方針

ルフ」の最後にへ「酸ながら 各的少女是

がら不天職」では感心しないといいまい 職」では感心しない

民政策の錯誤、即ち終ったのは富然だが、 お局失敗に

華民國」をいる世界 一様民地」で呼ばれ

自滅する外にないさいふのであ イエスである。ヒヤ

生って議論をしてゐる諸君は、 生って議論をしてゐる諸君は、 生って議論をしてゐる諸君は、 確に植民政策のAbedhm

補鐵社會主事

広權交涉 東支鐵道讓渡ご交換條件の 牽制策 口 シア品ダ _ \$ b > ピン

は野する今日

は 「野する今日までに決定せるもの 藤東京特電十五日盤」官吏滅俸家 黒進的に進める、政務次官、事 黒進的に進める、政務次官、事 黒進的に進める、政務次官、事

總額二千四百萬圓

十個以上百九十 関以上九十個ま 以上百四十個ま

で、爵大臣の年俸八千圓及び總理 大臣の一萬二千圓に黙して一割罪

「百萬長者の雑誌、

まあ日本でな

\Q

主 くさ、しつ、しらくも、たまれけ、吹出物、あせも、たまれた、 温疹、 頭瘡、靴ずれ糸がせ、 温疹、 頭瘡、靴ずれ

四百萬園の減額を得ふ模様であるる。

中京南ふ賑で議會民國

ングせんさの計画わりさ降へら いめ支那全土にダンビ 支那に譲渡する代償さして、國内とソウエー・館は存職道を無償で 依備せる農産物及工業製品を無 てるる治外法権能够運 方とと で 「世界革命は東方において成就せ へて東支鐵道の機利な影響にまで網です。 ち終せられ、光般も戦争にまで網

反對により



の断然強硬な態度を管時に、理想的

ので、一時支那

こさがある。

た今日は野て「佐の一般の効果がはつきない、チャイナで見ら

◆…とかと配に所支那臓にので仕事をやお事になった。 は日本人が支那関内で仕事をやな事を嫌ってぬるやうだ、響で が一般に日本の総人口七千萬の が一般に日本の総人口七千萬の が一般に日本の総人口七千萬の をしたさとて もその一制に もだらな。日本人の移性は勢順に もでく恐れるに間らぬさいった人 0

◆…こころが意地窓の友人が盛に あて「ちや先づ隗より始めよ」 ちやないか」と大具得を切つた すりや支那も喜んでやらすだら

す。してゐる事情ましました。 ち、どて政府にこれが受難を懸謀した。 ち、どて政府にこれが受難を懸謀した。 をのい、「如く政府さしては我國は鍵、安定せしめようさいふ親姚な米國 ものい、如く政府さしては我國は鍵、安定せしめようさいふ親姚な米國 が登録を抵訴した。 銀會話を開いて支那の鍵市場を ができる。 はくれだけ数官 低下し、それだけないの議員の談 徹下げはそれだけをではまさいふき味では る 「程だ。 を部の大ダンス會開かる。 世代や全部の大ダンス會開かる。 世紀では學典さん以下北方の をれだけ教育、低下し、それだけ、

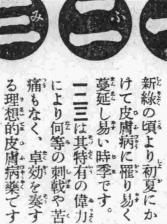
子供ストライキさいふ珍野謡が 東品店に制座 ・ます。 指名下さいま 定 價 二一五三二 十十十十 型區鉄鉄站 さいますやうに願ひますが御座いまりから、お買

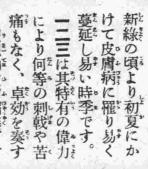
國際銀會議 支那で開きたい

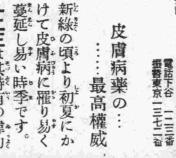
事すべく記載の運動のであるさいはる 電に出版し、支地代表中國銀行支 ででくいまく、具盤級な立てるるさいはる を記したことは政府の意味を暗がするな待事であるが栄子交氏が指導版地位に乗ってあるさいはる のの成役は重要視されて を記したことは政府の意味を暗がするな待事であるが栄子交氏が指導版地位に乗ってる。 他各地の支那銀行家を指導して支配を地の支那銀行家を指導して支配を対して 銀會議主催の 可否協議 藏相、 實業家と

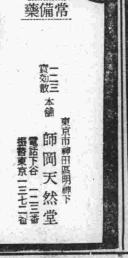
宋財政部長の計畫 蛇















後一時十二

一分工業物物館を御出

乘船は早目に あすの定期船

五 最終である、エロさグロの渦巻は、脚である、エロさグロの渦巻は、脚変な変っては平平が外下の土鼠生活をしてあるがち不大連市中に存在してあるかち不

空東狙ひや振ッ振ひに出掛けると

置り、 夫は賭博にふけり、子供は

受持ちいたのである、部落ついふ分業制度なのである、部落つ

等の心理だ、子供は七、八銭から

市の犯罪の暴縮はこの部落さ

人には機能も及ばない不思議な彼にふのが一番多いさのこと、現代 の原因は妻の真操の曹方が続いさ 1 出観のばいかる鬼にて御師連遊ばされるが驚日は午前八時五十分ママトホテルを御出餐になり準臓ビマトホテルを御出餐になり準臓ビスを痛いが変して御師連遊ばであるが震日は午前八時五十分ママル屋上に御成り溝縄一跃佐伯中佐と

更上御視察

御歸連の春仁王殿下

觸感の夏初

と賭博と

寺兒溝に巣食ふ苦カニ萬

五 大を数の棚京小屋に 大を数の棚京小屋に

底の生活

陸大生一行さ共に午

貧源館其他を

東にて大連へさ向はれた 機能できる職長室に入らせられ御 機能できる職長室に入らせられ御 ではないと概念の外が有性格者に認 ではないと概念の対が有性格者に認

の何疲労の御無色しなく御事手の膿ん態はりつゝ連日

申上ぐる電

五分大連發。

た慰安する消滅の慰安車は今年も 選を訪れて都會師供活からい朦朧 へ仕立てた領りだ……さは能学服 の一群と秋に中間朦朧がする人 苦心して、例年に劣らない慰安車

力であって略

り目尾い金品を勢取る何。不識に隣るや兇漢は戸機

た、九時近隣の者が

「一」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」
 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「」

 「「

 「「」

 「「

 「「」

 「「

 「「

 「「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

 「

大連市民運動

關東州庭球

大會

中込締切

一日まで

野園東殿林馬 - 長以下列立馬橋 育・島東町角に至る在郷軍人、 で野園東殿林馬 - 長以下列立馬橋 で野園東殿林馬 - 長以下列立馬橋 で野園東殿林馬 - 長以下列立馬橋 であるされ

午前七時四十三

が なく九時十分経熱心に御殿所遊び 一 御休憩られされず御一行さ共に南 ・ 山下の部落に起かれた此處して大 ・ 車・はで

十五日午前十時より大連市役所會來る二十七日の海軍記念日に関し

お土産を積んで

滿鐵慰安車出發

例年に劣らぬ出來榮

華記念日祝賀

避しの大連着頻線定は十七日着を裏長山外島方面側置中なる軍艦「

「淀」看發豫定

おに就き職井大連署保安主任は語

文豪ゴ氏婦る

小崗子署に抗議したさいふ譯で

畿になるが元頼一杯であるを主宰するはず、なは氏は六十三

では、そのま、白風丸に積み吉原飛った。 でおさ地に十六日中に根室、『後の も無難なよることとなった。 と再輩ないることとなった。 とのま、白風丸に積み吉原飛った。 はなった。

生ごた為め飛行不能さなり機械性に故

休憩所の設備 忠靈塔境内に

密殺肉密輸の

公主嶺の

人妻駈落

越後で心中(殊)

通す晩春の肌寒き熟風をもお眠ひれ合ませられながら渤海より吹き

平自二乗艦されたいさ 中日二乗艦されたいさ

説明する現場話な歌笑

山戦蹟を御見學

荒

育黃自住學院華人分會、海軍協會議室に民政器、智察器、市役所、

電館に新奇を好む客の心理を巧に 入れたし、ダンス、タッチサービス等の て覧い

営業者が

當署のみ嚴重ではない

をめたる同人に駆り直丁 電話 地口洋符俗解シキ(王) の手葉の上演蝦病院に入院せらめ が生命は別様なからんさ [開原

同人に豚地磨丁

報知日米號

根室に引返す

を取扱いると『奉天電話』 を取扱いると『奉天電話』 を取扱いると『奉天電話』 を取扱いると『奉天電話』 を取扱いると『奉天電話』

換事務取扱可申候追加臨時總會終了,

新了上午本月三十一日日曜日ナル#特!名養書 大連取引所信託株式會社

日間でセントの一番でセントの一番でセントの一番でセントの一型一個での一型一個での一個での一個での一個での一個での一個での一個での一個での一個では、サーストールでは、サーストールでは、サーストールを表している。

十五日から開始 歌亞航空郵便

大連署保安主任談

御來連の閑院若宮殿下

連日の御見學にも御機嫌麗し

南

山

戰

蹟

碑

(文章)

で満鰻小蘇西北島城(三十六順般) で満鰻小蘇西北島城(三十六順般)

物、鮮魚其他(車外販賣) 北島丸衝突 は入郷に理から木村理事に召喚されば我子 で、 には入郷に理から木村理事に召喚され飯髪 は入郷に理から木村理事に召喚され飯髪 がら木村理事に召喚され飯髪

三日目取組

東京大相撲

一、電力の部 従債電力料へ を設弊耐大速、奉天、長春及 記 記 記

無料金 なりとな申受けます

電力及電熱料金改正廣告

営城丸ご

男が死ぬのが嫌しなったものである、なほ宮子は浦州公礼職資新職である。なほ宮子は浦州公礼職資新職 家出して東京にて自活してゐたも 龍口沖の鯛漁

日下湖一の漁場調 に出港中の水電によれ 受無 の漁場調 に出港中の水 例年より遅る

石大阪市西成園で出新町瀬二ノー九西倉の事会は「上光西舎

壓

時に付いて一キロワット時迄の分

を 四 銭 多 厘 フットは平均一箇月間の使用

付から時に付からいます。

金参錢五厘 金参錢九厘

金金金金或数线线线线线线线

金参錢前厘

武錢九厘

キュービー

マヨネーズ

の漁艇が操業してあるの。 龍山神の漁場は日本の漁艇が操業してる程度で昨年より漁川連れ渡場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場は日本の漁場を受ける。 米の申入れを A·Kは拒絕

連鎖商店街カフエー

の躍進

大連署板挟み

砂無經 為別 製 護 22283 電22044

風行間壁が再次塗城、大連製保安を搭乘し、同業者間に経點な安給のであれて、同業者間に経點な安給のを搭乗し、同業者間に経點な安給のである。 同業者間に経點な安給

短いで、変形で、変形で、変形で、変形で、変形で、変形で、変形ではつてた大洋楽管内のカ

館に投稿したが午後二時中暗電一九時直江津縣に下車縣前川崎屋旅

が午後二時代は第一

學堂長打合會

粉せんさ されたい

らめなが胃が、地とてるのを女中に發見さしてゐるのを女中に發見

に緩かであるに反し責署の御小崗子署のカフエー 締ば非

奔流 するこうな知られ

さ抗議やら投書やらが盛んに舞ひ

越後地まで脳落したが

板挟 みさなった大連署で

開原の

强盗、家人を傷く

金品を奪取して逃走

新し日本鵬は是非この干融一遇の 野し日本鵬は是非この干融一遇の 時機が成功せもめたし、森然低地 は適合を打合せたが何分日 は、かけ、自己の中人れた拒絶 である。

御食膳に

一電六五五0番

株式名義書換停止公告 昭和六年五月十五日ヨリ同年五月三十日臨時様主總會終了ノ日迄 昭和六年五月十五日ヨリ同年五月三十日臨時様主總會終了ノ日迄

ゼクニックにも

殿兩朝秩四賜畏下宮香父度賜畏

滿 洲 電 氣 株 式 會

昭和

六年

五月

社

濟南事變三周年慰靈講演會

Ħ

名話術の伊

後援 大連 佛教 版大回收の裏 一演 由米戦争の避 後援 連連フ 連合網票軍 場會志談體由 演來

五月十六日午後六時半

小二部 約は台所から 日遅るれば 日の損 不次時代には一歩前進して節約品の販費 限る 世界的大餐明カーボライトの出発で未炭薪 レンタンコータス 電銀 水久的園益事業です 石油コンロ 瓦斯 石炭代金並に時間の節約 日本全陸の燃料消費高 一大年に約十二億萬间です今末が此のカーボライトを使用すれば四割即ち四億八千萬側の利益と時間に於て四割節約出来ます 本品は陸瀬里諸宮公衛のお方より絶不の賞證を 存て居り升 百 間 は 一見 に 如 か ず 得不居り升 百 間 は 一見 に 如 か ず 得不居り升 先づ節約は台所なら一日遅る北出一日の損失が属別の節約と一ボライト

洋品ト子供用雜版

滋賀洋行 年白 博轉

關東州 場製氷會社裏)

河 自 話支護車の元を書店

主

•

利めに教度の盗みを働いたもので解約コート一着に窃取らたのを手 が不景氣でチップ收入が減り性來 学生盟休す 水産講習所 カフェーに移ったものであ 天氣豫就 特別大犠牲二週間満鮮視察團歓迎の為

五月六日

最近限速回機カフェーから

ないませばであてある、彼等は地域でもありますとではあっきでいめつける、長居は大きなが騒さ早々で引続けた。この部へてがいませんで引きません。

けるさ怪しげな男が飛出 て來て酸が膨脹されてゐる、レンズを向 從い見てはならわエロで賭博の場

屋イスヒるあ用信一唯洲満

来る、さいか状態で自慢にもなら といって、また側のやうに無難つて はっぱ、また側のやうに無難つて がた。

北西の風雪後時十分

金屬、麻雀、紫檀細工 專門店

大連市浪速町三丁目

引

弓

電話ニニ 六〇九番

日活の「かん

にでも忍びこん



男の終に墓でと墓での間をひそ

「技どますから、ごぼんさ音がし

りの壁の木が取巻き、 家から來てゐるさいふ果者山村新の上の極が一つある。ほれ、早暖 か田沼の我儘さる田沼に目

見もおなじく」

天山氏で同君はか 話術界の第一人者ご云はれる伊藤(催する、ささなつた講師は今の味日大連関係である。 とうなった講師は今の

京

れでは一寸計ての響だ、餘穏の名

伊東天山氏が

日

の下に渡る事態三周年歌艦隊遊覧地在郷軍人並に各宗寺院の後 慰靈講演會

得し歌歌之助脚色形上金太郎監督 常し歌歌之助脚色形上金太郎監督 等し歌歌之助脚色形上金太郎監督 太郎主流の「御場院がれ異感」と東亞に入社とた處經三郎の第一東亞に入社とた處經三郎の第一

師付













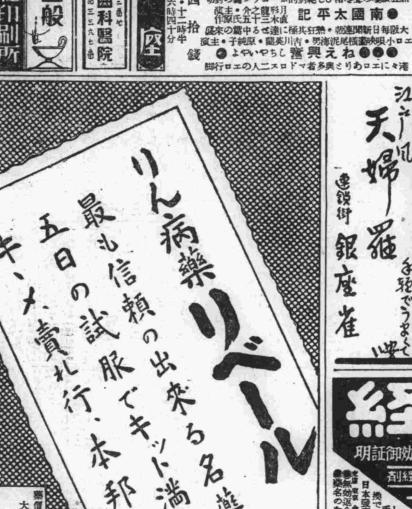






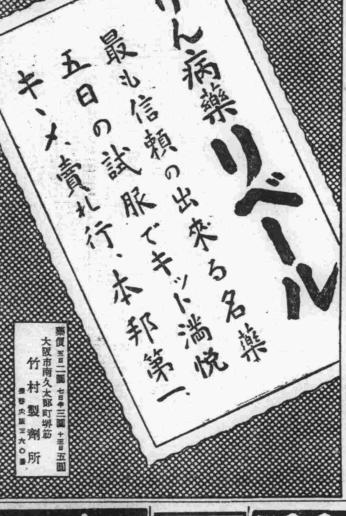








品



庸造-計算-鑑定 建築-設計-監殿回

宗像建築事務所

宗像主

大連市連續商店街太小路

I 圓 冷 慧 椅 子 ı

瀬のきいた 家具は装飾は 連申伊勢町大二 **茨互業**

産話七九六八番

治 家庭

液

社會式株

(64)

棋戰[出四]

BREE.

0

看るこころ

精頭力

には

4

٤ 腦

(可認物便郵種三第)

一つ三十兩回 野中の古寺さ

域一つづい

はできか彼さか云つて延ばしてる」にも云つて來てゐるさうだが大粉にしる云つて來てゐるさうだが大粉

名曲と難曲のみを選んだ

步步銀步

堂食大階三

の方と見り、一切の方を見り、一切のの方を見り、一切りのの方を見り、一切のの方を見り、一切のの方を見り、一切のの方を見りまする。

堂食大階二

| では、 | 一 | では、 | では、

そして清潔と氣持

U

一六日協和會館

しているりません。灯火人などの住んであるや わかりませ た計つた時なぞは随分器あらかつ 「さうだく、「「飲かめの愛収左近 思った。十二ケ所の手傷

協和會體に於て開催されるが、會 に審議會を開催する事主なつたいよく、明十六日午後七時中より 南事變の眼病死者の壁を慰めるいよく、明十六日午後七時中より 南事變の眼病死者の壁を慰めるいよく、明十六日午後七時中より 南事變の眼病死者の壁を慰めるいません。 清報に乗進して中間流三年振に來進された。 清報に対して、

育全<u>商</u>全全全 三五三七四

四同三三 駒四九八 角

南事變の膨緩必者の態を貼める性に審護の膨緩必者の態を財産する事となった脈の形成必者の態を貼める性に審護を財産する事となった脈の元表の形成の音を関する事となった脈のでは、

かんで田溜の大殿がわざわい野に無念派の差人だ。 それのでは、大きないやうだ。 周太

日六

月

六

五

世にして、チゴイネー 対にして、チゴイネー されてゐる。尚常夜の曲目は左のて發質し、既に社員は樂部の如きて發質し、既に社員は樂部の如き 大回收の裏面観及び湾南事態を提覧野の避けられの三大理由述に旅覧のがけられの三大理由述に旅

血圖

四十錢解放

圖天

練郎一人二役

で効く名楽ありて同病者が―多数助かって居る

黑綠白 內內內 障障障

古來から

理定と言ひはへられた

大連連鐵街銀座

藤吉五郎氏

で中病の貸め物故されたのれてゐる加藤吉五郎の 於ける諸曲界の元老さ 善 謠

期の開公に遂憲映大の題間るせ博を

やんらさせ動感か誰に

理動変の含な開催するが数日の曲子後六時より遊樂館に然て集九回大連整曹愛崎舎に然ては明十六日

化劃映家駅のい紅ビなは菜墨・作原史女代千野字
● ● ● 女 つ 立 に 端 尖

愛吟會演奏會

• • • 切封日二十月五 •

渡生。子三喜光。吉祐田岩。夫鑓利毛。子弘崎川 の子女婦の下天滿やるれき都連に紙聞新知報度一 切封の鶴ンラムー本的製絶しび浴を壁の破滅狂熱

被

根思大の世教〈説が繁親滑寒の獨孤

加古眼科藥本家

、類似歌にダマサレの懐仰へにならればよいがと心臓でなったりればよいがと心臓されていかと心臓されていかと心臓されていかと心臓されている高く

所溯 菜 在 張 務 牛莊、 業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、 安東縣、奉天、 運送業、

長春、哈爾賓 保險並に船舶代理

物鏡石類、織物類、鹽、海産物、砂糖、罐詰類、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、水材、碗安其他化學肥料、酒精其他工業樂品、金木材、碗安其他化學肥料、酒精其他工業樂品、金木材、碗安其他化學肥料、酒精其他工業樂品、金木材、碗安其他化學肥料、酒精其他工業學品、 | #物產然會社大連支店 大連市山縣通百八十二番地 上須町 # 話六四九六番 一組 内 豊 文 堂 地 内 豊 文 堂 地 内 豊 文 堂 清速町 電話五二三五番 著狭町 電話八六二六番 著狭町 電話八六二六番 著狭町 電話八六二六番 一川 洋 行 空話九五二四番 上井內商店支店 整話五七番 大 若 若 混**込** 石泰町近町横町

■病を起すことがあります状・危険なのは肺炎・育瘟がも危険なのは肺炎・育瘟・の如き

M-40

蛔虫が寄生すると

京南古文等领社会大地 二可多理武夫

後援

典一門司大連問婦り乗船券差上まず

ンゼリ

88

金四拾参 湯募集图 多各 《雲仙行きは傳輸習》

團募集 (A 組

大所、本清正公、水前寺公園、太宰府、株遊覧、門司上陸、耶馬溪、羅漢寺、青の温園の經費 金五拾五園 (申込)を見るのが、本清正の、水前寺公園、太宰府、株本府、株本清正公、水前寺公園、太宰府、株本市、本

豆は膨粋を奥へなくても、自分でした修物である、さ云ふのは、大大豆は虚姣地の際態に髭も適合

ない。 神気の のが、 それから次ぎから次ぎへさいが、 それから次ぎから次ぎへさいが、 それから次ぎから次ぎへさいが、 それから次ぎから次ぎへさいが、 それから次ぎから次ぎへさいが、 それから次ぎから次ぎへさいが、 それから次ぎから次ぎへさいが、 それから次ぎから次ぎへき

展画一方の画観さなつたのも、元 ・ 展画一方の画観さなったのも、元 ・ 展画が多単数以の代に及んで天下の ・ 観作家氏が緑林より出じ、一臓 ・ で表する上、一臓 ・ で表する。 ・ できる。 ・ でき

満蒙開發の雄大豆の

西へ西へご落ちて行ったが、山東 を製めて移り行く、彼等は打ちを を製めて移り行く、彼等は打ちを を製めて移り行く、彼等は打ちを たまられずして、住み慣れた郷土

の財

果

12

0

さして知られてゐる。

手である。

人々は、夕日か追ふて

吉然沿線等と共に大豆の主要産地町ちチェハル附近が中心地でなり

| 「一次の機能が配りを終さしても地方終す。 大豆は質素怪物さし、大連を首め奥地

金一圓五十錢

金一圓五十錢

よ減資される豆信

キロワット 契約容量 電力の

キロ時では一時に行一

マット當平均二箇中 一キロ時に付 一キロ時に付 一キロ時に付

金二錢九厘

金三錢二厘

金一錢六厘

契約容量一キロワ

火を睹る る、從つてか付の合理していばでは既に意味され

六月の定時聯合總會を控へて 各方面より注目さる は、本ののでは、中村職合會、大きこれが、本ののであるから、かられるから、かののでなるを、下打合せななも変ながあるから、から、かののでなるが、大きこれが、中村職合會理事會を搭しているから、かられるからから、かられるかられるからが、かられるからが、かられるから、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからが、かられるからない。 發表の上 非常な

て代表取締役に一任するものの外買入債格、通知方法、近右の外買入債格、通知方法其他買入

第二 資本減少に関する定款變更新工 資の課定額に達せざるさきは第一級第六條を左の通改む、但した款第六條を左の通改む、但した数第六條を左の通改む、但した数等大條を左の通改む、但した。

金三錢

人の支那における工場設立 て自國に都合の良 でけ像によって全

「殊人の支那における工場設立 「殊人の支那における工場設立 の方が、その目飾に日本の下業 のだが、その目飾に日本の下業 のだが、その目飾に日本の下業

まらい。

・ 同ふ見すの國民政府のここだ

・ 同ふ見すの國民政府のここだ

・ でも自由な愛を伸ばすここが出

をでも自由な愛を伸ばすここが出

・ でも自由な愛を伸ばすここが出

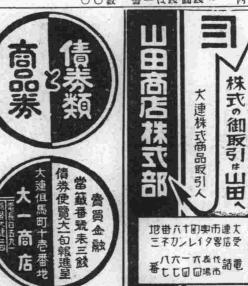
相

北濱定期の前場寄は大新七十銭高いの東新は一個安に寄り五十銭高いの東新は一個安に寄り五十銭高いの東新も一個十銭の東新は一個安に寄り五十銭高い場合は、大新七十銭と

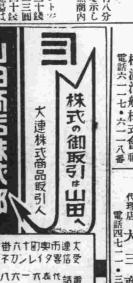
営市弱保合

正金(銀勘定)
日本向參看號(銀百國)登園(0)
日本向參看號(銀百國)空國(0)
日本向參看號(3)
日本向參

其他支那吳服類婦人子供服生 地新柄 ケンチユウ 和LED連浪連大 服<mark>界公</mark>萊德









・ 会とて、仕入れに當り、これな意とて、仕入れに當り、この現金標と同様にする代り、この現金標と同様にする代り、この現金標と同様にする代り、この現金標と同様にする代り、この現金標と同様にする代り、この現金標と同様にする代り、このはか以て取引を為さるのである。而して為替を組み、これを書きたらて現金費りと同様の條件を以て取引を含さしかる。 の値下げや技術上の事で延引とてゐたさころ漸く認可な得たのでの値下げや技術上の事で延引とてゐたさころ漸く認可な得たのであったが、その間滿鐵の花炭の調可な得上の事で延引とてゐたさころ漸く認可な得たのであったが、その間滿鐵の花炭の値下げの改正案に養手と同十一月、滿鐵在雪社では低物價時代の趨勢に顯應と需要家の負擔を輕減する たななる につて大連における商品輸入版の進出も目ざまときものおいる川縣人側のみならず、邦のため、上海における工業勃取が支那關稅大埼率や銀安な

新州一十日に遡り實施することになった、今回の値下げ酸は一ケ年数三十五四圓に上り同社電力總收入の統一制に機能して居る、一級三素が心臓の指標とて今回の料金値下げは各工場經濟者にとっの処へ電熱料金の飛下げを従った CID波資の方法は金五十圓拂込の舊株六萬株の内四萬株を夫々其十四萬株の内四萬株を夫々其十四萬株の内四萬株を大々其十四萬人の一百年を大きた。

る。 【上海十五日数】 金質が の関い、金質が、東に引かへて三片 の関い、金質が、東に初の利喰に は、伸び悩み保合 上海に係金 上海に係金 上海為替情報

七四五兩五七四五兩五十四五兩五

自然增口對

减資案內容 た豆

0

『東京十五日登』本日の定例閣議 決定事項左の妃し 一、希質維持のため六千萬田の低 資融通の件

今明日中に發表

繭資金融通

銀塊及為株 倫敦振塊 三片大分三 同 先物 三片大分三 同 先物 三片大分三 同 先物 三片大分二 三貫領塊 超智比の分の スチール 「宍州四分三 英米賞替書明次何1大分型 英米賞替書明次何1大分型 三十大分二 三十大人

東京期米

大阪期米

閣議で決定

大連取引所信託會社(記信)では、大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引所信託會社(記信)では、一大連取引を対している。 けふ株主に通知狀

東京十五日登 覧糸中央會その 明 棚 面間態(大蔵・農林麻香間の打。 現 他 五 剛盤の除懐による 職資金低資 現 他 五 剛盤の除懐による 職資金低資

日六十月五

輸組聯合會

を示

年六和

一、海外市場に於ける社

第二十二年版 一年の月以來二十三年版の無低 で三分より五厘號下げ二分五厘に吹託する旨養表した 変職銀行今回の新輸船歩合二分五厘に 変職銀行今回の新輸船歩合二分五厘に で記する旨養表した

公定割引步合

おるから今回の利下は金融市場の實際に追随したさいふほか大なる意味は附せられてゐないが、海外市場における確常者の回復だ

五.

厘

引

日銀利下の

登」右につ

促進如何

井上戦相の話

二分五厘に改訂發表

動張歩合か下礁ること四分の三パーセント以上に塗してるたのでは起さなかつた、因にコールマネーは荷養表に飛立ち從前の公定、等の諮事項により答方面で墜期されたこと、て市場に大なる反響。

野歩合か下残ること四分の三パーセント 起さなかつた、因にコールマネーは右殺

中央金庫 勸銀、農銀、北拓

官商筋賣らず 大一豆、强、調 今朝の定期は依然官商筋が賣らず 大一豆、强、調

特

産

五一四七七

東新(引三元)

沢介五

貸附利率四分二厘、經由機關手、利率 四分七厘 但じ預金部

四四歩日

你 二十 圓五十錢

篠崎書記長

合理 田 席のため大連陳工會議所協議會に出 される日本郡工會議所協議會に出 である日本郡工會議所協議會に出 あず飛機で上京

は 動た緩和する必要があるが、 動た緩和する必要があるが、 動を緩和する必要があるが、 動を緩和する必要があるが、

豆油 三七〇〇百箱台三七五百箱 三七九〇千枚台三九四千枚 二二三車 二車 二車

豆 粕 二〇五〇 二〇六〇 出來高 四萬九千枚 豆 油 一六〇五 一六一〇 出來高 六千箱 高 聚 出次不申 包 来 四〇一〇 四〇三〇 出來高 四車 上來高 四車 氷錢新五銘

後場(保合)

四十九圓五十錢

代理店 松浦汽

大阪商船株式大連支店 大阪商船株式大連支店 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番 電話四二三七番 **■阿波共同汽船**

明華郵船株式會社大連代理店 明華郵船株式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 日本式會社大連代理店 大連市山縣通電話 (三七三九番 大連市監部通音書橋 京記 (二十二二番 大連市監部通音書橋 東 級 所 九 二 商 會

白度麻袋 新直積 三留比分三

●薬船切符簽 変所

大阪商船株式大連支店

東新 111110 1111100 東新 1111110 11111100 111120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 11120 1

基基高进行 第二番老虫 基基高进行 第二番老虫 基基高进行 第二番老虫



說

(版內市)

激烈な討論を行つた後、世界的賠償問題等に関する各國代表の賠償問題等に関する各國代表の情で、同心際商業會會中であつた第六回國際商業會 されるこさゝなつたのである。
が的景無復興の手段さして研究の論議は茲にいよし、現實に世 開催外四十餘件の議案を 微妙な國際外交、政治問

和 昭

石大會に出席した各國代表は

減俸案は諮詢

せず

身分保障のみ奏請

确蒙における特殊権益、貿易

八日饗開して大歡決論を得ること等につき意見の交換を行ひ更に十

できかされる説明あり更に でもか支票本土さな如何に扱ふ できか

樞府は成行を注目

五

年

六

はずして、しかも列國と歩調をる我國が會議の指導的立場を失 貿易の約半ばを支那に貧ふてゐがあり、その間に伍して、輸出 上問題に關し、現在の支那を就中、列國が銀價の安定乃至

早や忍ぶこさは出來ないさまで痛され既迫されてゐる狀態を開骨一般購買力が現在の如くい當然の立場されてゐる狀態を **運動さして親日論が新たに擡頭以策並にそれに伴ふ一種の諒解**

によって日本になされて來たの 都省要人の談さして中國政府即ち十四日の華府電報は米國

相邊りの、不況の歐洲を見り

に銀質の安定のみにあって、必ずとも強ひて人為的の吊上を欲すとも強ひて人為的の吊上を欲む乃至八まで位に昂騰するここも乃至八まで位に昂騰するここを発言するここであるものは少なくこも銀が

○きのふ出發し

へ満鐵慰安車 (編集日 機樂系)

人江、松村、蝦山、岩本、高橋、曾を開きその決議が現て選ばれた

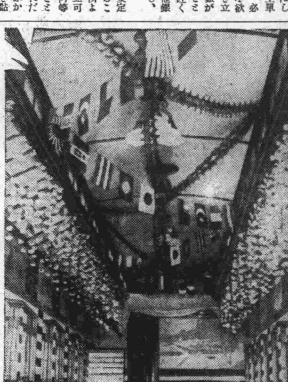
果樹組合評議員會

內地東新高

常市も聢り

間に問題さなり、これが繁策を密

小談けて見ての機械を整理するこから一名づしの委員が出し委員會



廣東石井兵 怠業 當局は嚴重 里に警戒中

と不職の形勢あり常局數重撃成中 と不職の形勢あり常局數重撃成中 日の本金 米紙特派員 本會議れ終て直に全國に管討れた孫廷の遺教和國民黨より國 外相辭職延期 四日發】大統領選撃に一今回關東州水産會が背島所願機船

漁獲物の

不當上市

設と答したので約三十分にして會

十八日を占領記念日こと大連神社従来は二十八日説多かつたため二

現在解へられてゐ

原新拓相は

來月下旬に來連

滿鮮所管事務視察に

東京十五日餐》ニューヨーク、 は過機園氏政府から同政府に不利 は過機園氏政府から同政府に不利 は避機園氏政府から同政府に不利 王部長に抗議

治安の

維持が

目的

が警官は

の解祭なども最近まで二十八日に にこれ等の問題についても風根を も行されて來たが果して何れが風 動行されて來たが果して何れが風

和蘭商銀の兌換

ちうからその上で決めるべき間 の気家るヨ、十数年振りで行くの ではあるがお隣りに出かけるや ではあるがお隣りに出かけるや ではあるがお隣りに出かけるや ではあるがお隣りに出かけるや

田して廿四日頭大連に入る豫定で 日東京出餐朝鮮、安東、韓天を經 日東京出餐朝鮮、安東、韓天を經 日東京出餐朝鮮、安東、韓天を經 は六月十

沙州

日

につき臨職の結果左の如く決定午 大後二時半から本部に行政整理委員會を脱き教育総座並に軍部整理委員を脱すない。 日本のは、大阪を建立している。

軍部整理を徹底 せしむ事 ・十七個師関ル十四個師関に液

族、池田、串田、安心、見玉五氏重に研究の必要ありさいふので土 重に研究の必要ありさいふので土成素がなくてはならぬ故にならし、

理・中等校及びその教員の定員整

育制度改革と

ものがあった様である を正時二十分戦争した。なほ際上 を正時二十分戦争した。なほ際上 を記む意味の自重論は柳常深い かたぶむ意味の自重論は柳常深い

治廢問題の

意見交換

政友外交委員會

儒に對する各國政府の盟族及び民政保障案

つき主席際は協議の結果六月一日『南京十五日餐』約法の公布期に

【南京十五日験】十三日國會を適一本問題

ける決議發表

同夜用代は濟んだが、実し

滑棠に對する警告案

動光代理公使等は會議な傍殿した勢を附議したが午前十時田中大使

の本會議において滿場一致これた といる。 といて。 とっな。 といる。 とい。 といる。 とい。 といる。 とい。 とい。 とい。 とい。 といる。 とい。 といる。 とい。 とい。 といる。 とい。 とい。 とい。 とい。 といる。 とい。

慎重に意見を纏める

約法公布期

來る六月一

遺教引繼宣言

南體の何れが提唱すべきや ・主催國さな方なら政府、民間

日本が主催國さなるべきや否

(日曜土)

糸價對策を決定

近く委員會で低資融通決定

午前十時點露支外突や別委員會を

り糸便端葉を貧會の中間報告されている。

ト昭和七年迄に輸出し十萬根は 内地にて消費の方針を採つてる 内地にて消費の方針を採つてる 内にて新用途を登見と消費する を可さも何等かの方法によりこ れを取去り系質安定本年産繭質 れを取去り系質安定本年産繭質 れを取去り系質な定本年産繭質 な可さも何等かの方法によりこ な可さも何等かの方法によりこ

感慨深き四平街出

るいま

養兵應急資金六千萬個融通の

は要な響:武士國 朝にす 察等装き際に 新たる官記し、職に

外蒙問題對策附議 国の党換を祝った 国の党換を祝った

きの人の國民會議

重光代理公使、田中大使傍聽

からそんなのはまわかへしまさがあってたまなものの下に置かれてあるものというにはずれてあるものの下に置かれてあるものはまかには

孫文遺靈祭記念日に國民政府なし て公布せしむる事に決定し十五日

た及ぼし浦銭社覧會にても が及ぼし浦銭社覧會にても 部低欠性問題は敷総答方面

たれはてた停車場附属家屋 に売ればてた停車場附属家屋 ででいまるのかその頃一向感行か ででいまるのかその頃一向感行か ででいまるのかその頃一向感行か 店を登せる際園艦の一行も、 時。この朝局じ目的でたしかい行うする無村に。時に午前

昨日の満鐵重役會議

社員會は獨自の立場から

た てあることは慶報の短くであるが に 社員會としての低気性楽は在京台 では全然別借のものであり、またそ の管行が出運動等に関しても當然 ・ 社員會

規程整理

滿鐵地方部の

滿鐵文書課では量に規程類纂の整

豫算、決算關係の 營業狀態を報告

(可認物便郵程三第)

慎重の考慮必要

藏相官邸の協議會

銀會議主催には

を述べ低質融通の化は繊細より同一根本策に関する件

の統制その他試糸業の

秋霞の掃立制限の外なく方法認む既に春蠶は掃立中に就きにより繭生産の制限必要なりにより繭生産の制限必要なり

軍縮委員會では問題にならぬ 員會さしての態度は大清戦さいふの延長にすぎぬのである、また社 麻果し正しき史質な観響して特殊ない知れる古老、特整により材料ない知れる古老、特整により材料ない知れる古老、特整により材料ない。 の必要あり、常

ストルこそ特だしてはあるが全した。
一様のの治安維
一様のの二萬家族さしての意見を
日本では、一様の
日本は、一体版は、
一様の
一様に
一様の
一様に
一様の
一様に
一様の
一様に
一様に
一様の
一様に
一 の無意を纏める問題であり、また社員會本来の性質および主義方針、れた社員會本来の性質および主義方針、れた財産の無限を取るここと決したも物質の、如く從つて具體を決定までに会った。 今年の徴兵檢査

受檢者への御注意

に 4年は駅る不都合な者のないやう た記事喰を脱売して覧ひたいさ ・集合時刻 常日午前七時十分 前まで日本橋小県校に到着のこ

○現物後據

解決を終へ十五日 連 に於ける朝鮮運送大合同問題の に於ける朝鮮運送大合同問題の

中食の携行成る可く携行のこ

人前頭に郷むて出頭されたいさ

でき書類を添へ直に共冒でな受け難き時は事質を、犯罪その他事故により

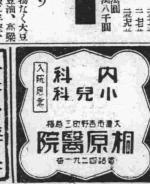
は小學校の電話が使 一等は必要以外に所











來十八日始まる 大豆聢り

か外の一般輸送を練についてはあかられ

も銀塊安を見込んで軟調を辿つ砂後場は上海標金保合を傳へた

標金保合

鈔票軟調

糸

不不是一个五五不後 一七七七九九〇申 中中〇〇〇〇中

大連を中心に

戦史を編纂

有志が調査會を設置

籍 大新 引寄引寄現•

物(乙部)

東

况介五日

日本から野取した男が此のウイッ

てるた日本の天草の女が今でも

の院坑が驚くべい富家であること

を勧めて難いた人々とな云つて居ます。

ソブラーソフの大流動か

張本

卅三株の行方

佐二郎

日露役の

にはあられませ

しながら此の高麗人が高騰焼

を思います。シャリフラダー 地ドル三世及其の腹心の交通大臣 ウイツテ館の名を遊に忘れるこさ で ウイツテ館の名を遊に忘れるこさ

漁港を鳥瞰し

て

<

する

0

又も

の上一日本新鮮な品があがなはれたち少くも三つの関門は発れるたれたち少くも三つの関門は発れるためが小寶市場へ真すぐにいつてくなる

る スーン地幣=南方より温泉のある 大度) 師ちハルピン 師近までは が 大度) 師ちハルピン 師近までは 充 大度) 師ちハルピン 師近までは 充 大度) 師ちハルピン 師近までは 充 大き冊

吉

期かるは 東会議が は で が が は で が が の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の で に の に に に の に の に の に の に の に の に の に の に の に に の に 。 に の に 。 。 に 。 に 。 。 。 に 。 。 。 。

本事であって関東人間が口惜しがるのは無理がない。(つざく)=上海 日森特派員=

職会繰りの苦燥に立たとめてある が飛びたとして管で見ざる進速感 が開武力解決の響に出ないである

が釋放された上で内閣のは驚時人獄中のザモラ氏

八第

の言ふ所を聞いて見る、その場合 を表し織いのはでこっても昨今反 を表し続いのはでこっても昨今反 であらればならない、四く 南京に府部内の管吏機能は全数 であらればならない、四く 込んで書氏自身の立場から反射派を関的なものは別にも一歩踏み 内外に繋する瞠目上さか、膨れれていまないが変に繋ぐからさか容観的に見た響いがなるなな観的に見た響いではある。

八千八百分の三十五で第一位次 約五千で百分の二十 ◆…一級選手がのスペイン ・ 大統領に握せられてあるか。 あるか。 あっセトアルカラ・ザモ あるか。 あるとは、 がの見事に、 を破ら、 がでした。 はたる。 はたる。 はたる。 はたる。 はた。 はたる。 はた。 はた。 はた。 はたる。 はたる。 はた。 はた。 はた。 はた。 はた。 はた。 はた。 ◆…彼は決して突如と

リヴエラの政治にはアル フォンソ十三世に親く奥 つてゐるもいさザモラ氏 は信じたからである。 は信じたからである。 我な振過す被ブリモ・ア つた。それは概要単改書 やがてアルフォンッ十三 帝政派の領袖であつたが

は周知の事質の一九二三は周知の事質の一九二三は周知の事質の一九二三元 たがアルフォンソはこれたがアルフォンソはこれたがアルフォンソはこれ 皇帝に誤へるさころあつ

できるい立志歌は苦臓 のブリエゴ村に生れ、総 がよるして立つまでには には になったでは、 を續けたのである。

人は繋して数人ありますか。そしたできょう一居るのが呼下萬の日になるのが呼下萬の日に 平佐さん、撫服・炭坑 日に過度の資本で整飾刀を接びてるが成人日機密のために残い出に多くのを確多くもて能且つ取っにはいる、即ち、のを揺いてあるのであって、これがで、数様を能は合理的であって、これがで、数様を能比合理的であって、これがで、数様を能比合理的であって、これができない。 本のさいふこさの概述は、種々の数 がもあるが、先づ第一に生産変変と がもあるが、先づ第一に生産変変と をあるが、先づ第一に生産変変と

じかし、

大の男がよろうまで、 大の男がよろうまで、 がで無しい一隅の小説な書 がで無しかったのだ。 がで無しかったのだ。 がで無しかったのだ。 の男がよろうま し絵への僕は確に

皆さん一つ御茶でも頂味呼もう」が暮からつて

たさ「老熊牌」の廣告があたりの入口送過りついた時、不意にごの入口送過りついた時、不意にご

造りの平屋である

歌いて雑魚製する た茅屋の、僅

丁度でが十歩足らで歩んだ所に 丁度でが十歩足らで歩んだ所に ボトポさ歩き出した。

天帆

此印に限るが使紙は

電話

洋服類舊裝

さち、なほ又その路次を同じもなってるかのやうに大きな機師が一本でることはいいというに大きな機師が一本 く思はすためかのやうに、べたべ 白帆

型紙 関中に家庭向途用の生産 教育元 拓茂洋行紙店 教育元 拓茂洋行紙店 教育元 拓茂洋行紙店 第2 の御用命は 拓茂洋行 電話 此印に限る化粧紙は

新古 金銀白金ダイ 日後町 さかひや世 会銀白金ダイ 電気 新橋用

滿洲 日報社 金州一定期二回 大連市武蔵町七 増田貨物自動車運送部 置話七三七〇番

台般學生用 4 侧腕時計六圓以上 テ着荷

是非御試用あ 大年 1 脳溢血の豫防の為に 2 卒中及中風 (人事不省の場合、中身不随の場合) (人事不省の場合、中身不随の場合) 水蛭販賣 木 治療

鮪を高

こは考へさせられた、人の話はこと歌がある、之れが色々の方面に張た、だが私はこれは驚然ださ思ってくりで、別に不思診な事さも思行く先々で味噌汁と丹前さ、そした、だが私はこれは驚然ださ思ってくりが無ければ承知しない 一覧我々否日本人全際でせうが かん人が成時こんなこさを言つ うだ。

最にもこさわつたように白紙さ

たのである。 ないである。 ないでる。 ないである。 ないである。 ないである。 ないである。 ないである。 ないである。 ないである。 ないでな。 なっな。 なっな。 なっな。 なっな。 られてあるのである 本は二石を突破してゐるのである 本は二石を突破してゐるのであるが論これは施肥其他所謂鬼殺歐法 等も影響するものさ考へられるが を表現。という。 を表現のと考べられるが のである。 でいる。 でい。 でいる。 でい

戦地がにこり輕視できり事様であることは日本、満洲、朝 でも様子べきか兎に角かいる法則 壊の症はこ ラの多い土地に揺高能率を上げてる。 の多い土 の多い土地に振高能率を上げてるる「極限地方の多数法則」が矢張り来をも支方の多数法則」が矢張り来をも支

で綴り合はせ、石西郷袋や鉱力板の

か一時に後の味のである。 住民遊は、野う

大の後姿ん獣の中に見近つて、再になれて、死んだ鶴の眸のやうなりを知って態極があげた。彼は伸りを知って態極があげた。彼は伸 「往那過去吧」」

路が走らせるさ、彼は俥から降りて、繋へる手先にキラリさ光る観賞がごこからか摘み出して俥夫に て称五分ばかりと緊通りの浅い水の見のけて、それに乗った。そと

部日五十 野中 の御用命は ・ 大連市大山通 小山

クサ 及胎毒の特効薬有ます

深連門 お灸 第ハリ灸専門療院 西公園町六九 商 科 大連沙河口大正通八五 三共**商会本** ・ 不思議に良く数く試あれ ・ 不思議に良く数く試あれ 電話八二〇三番 一四能登町六七

店商の等吾 外の服洋紗羅 貨雜諸 を寄立御度一たしまめ始を いさ下較比御を段値さ物品

> 町葉青市順旅 店商野吉

田村商會旅 順

魔 支店

高尙で强い强い 自轉車オ 御氣に召ます是非御下命を値段も安く 必ず皆 様の 二號

新古洋服いろく

新裝ト 春 0 ヤマ石鹼 旅順音葉町の 子 供 华打函入 服 陳 六 列 電話 四手行 + 會 錢

流行 日日 列 會

年二五以上地方住民者可 短駆請持念又は郵送 短駆前分配五七三二 大連山縣通り電五七三二 大連山縣通り電五七三二 選特 春 春

原介 電話並に信用給料生活の 三番地の五 永島 電ニー六七八 三番地の五 永島 電ニー六七八 大連市淡路町 一一一 大連市淡路町

西流画 第一次 1 第一次 1

ル傘傘

皮 軟 梅 性 唐 崇 病 院醫中 一回四六電·五二町野吉連太

「躍活の屋質 密嚴守 特色

濟生醫院 電話 七八六七

日の中には耐ひは出來ません、デ れにまンの結氷位で三日路の海を も三四日は極つてゐるのです。 1 枝庭 < 次武

夢

(52)

0000000

金九拾錢金魚有四五拾錢金金,有一個一個五十分。

不用 品類切本位質受 常陸町渡邊商大 電六八四一番 常陸町 たじまや電六八四一番 日陸町 たじまや電六六〇一番 日本町 たじまや電六六〇一番 日本町 たじまや電六六〇一番

李町 新古譽 電七四三五 品富價買入卻報次第28上 四番 一四番 大 谷 商 店

年

河

日案内

電三二〇九番 持田順天堂

牛乳 大連牛乳株式食社 電話四五三七番

牛乳 メターク

速町二丁目裏通り 日課洋行 がウキッチ電六六六〇 ドウキッチ電六六六〇 ボラウキッチ電六六六〇

れない。けいご 瘾者の せんばい さんのてきるさ よろりさ路上を辿り弱めたのだ。 からびた皮膚、そしてだらした 一般人のやうに白黴した臓、路上 変を乗らした一元、線では此の世 に生症は少なった。

商人

春極に

知らない人があり 満所なのである てその郷民街は やうだっそれ

ります。 ・本と此の男が選続な大阪の直 に生存出来る人。の変ではなかつ 女中

1000

商品 华孙紫债券實質並に金融

+ 月

の戦略だけは逼れく至る處に数であれる、
の戦略だけは逼れく至る處に数であれる。
の戦略だけは逼れく至る處に数であれる。
であり上げる
の戦略がけば過れるで怒り上げる
の戦略がある。
のものを、
のも

かではなく概念彩がな本家野び火が膨ぶにそれは下手な弦響りなん

連中ではあるが飛行と苦勢で満石地水賦分郎ふ意頼の荒い反無派の中水賦分郎ふ意頼の荒い反無派の

めなものである。
歴史人は確に常

たく所随分水児病的ではあるが故にして革命の大撃たる江橋衛胡変に大々形派人にして 医職人の後谿に大々形派人にして でのは、陳鬼夫邵元神の職人が据 つた事は明かな事實でありが同様

無版の響な、馬圖な海に包ま 連に本て鯛の高いには閉口する。 東京 では、 一方に五銭か六銭 で、一方に五銭が一巻で、 一方に五銭か六銭 で、 一方に五銭か六銭

附きものであるやうに、我々のロシャ人のルバシカこサモワル

い、お隣の支那人の信補と南京階ものはあながち日本人計りではな 魔していけない、尤と習慣さ言ふ

たよ、紫腰な、さむきになって、一本の歯が保身しか残りまで、一本の歯が保身しか残ります。

なが更けてAは形削さ味噌汁は ではいなアミニほして篩つて行きま、

なぞに建てる臨時なるの野殺の

能は既に亡く先には汪精倫追は大先覺たる朱執信、廖仲愷、鄧

五

二番目揺ぎに、一番のであるが覧の所萬事はこれからだ、樂屋覧集におけるそのれからだ、樂屋覧集におけるそのれがられ、作機であるが覧の所萬事はこれがよい、作

はない、変便液み取りの如く道ない、変よりも腹物がよく変れるさいに実いことで

は歩けません、至急にボラスでは歩げません、至急にボラスでは歩げませんが、頭の一

るので便宜上こちらで管理することになってかりこれも十三日から修繕に着手しました、そので他の道路は今直接こちらで如何でもすることが出來ませんが監督権はある譯だから會社に修繕するやう注意しませう(関。廳

を を を を ではありませうが合理能かさ言は、 のではありませうが合理能かさ言は、 のではありませうが合理能かさ言は、 のではありませうが合理能ができばいる。 を のではありませうが合理を がでする。 ではありませるができないたいのです。 のではありませるが合理を ができないたいのです。 のではありませるが合理を のではありませるができない。 のではない。 のではないない。 のではない。 のではない。 のではない。 のではない。 のではない。 のではない。 のではない。 のではない。 のではないなない。 のではない。 の

失敬してるここがよくあります。

良も公平にやつて置ひた

年

六

(可認物便郵種三第)

反

尚勸進元さ

決ら

ず

内以行十五 迎歡書投

すらさは傷中

筋書作成の眞最中

でつたさかで取るものも取録す大 の南下を喰ひ止めるのが緊急目が の南下を喰ひ止めるのが緊急目が の南下を喰ひ止めるのが緊急目が

野州、河北、山東、河南さいふ 順であり指止めは監南の二十四 所であり指止めは監南の二十四 がするる地位から言へば高江人 サイるる地位から言へば高江人 は御大蔣介森が政府お席兼陸家 である。

印書 邦文及英文タイプライター會社 野文 タイピスト養成 電四三〇八 監部通九六 英學會プリント社 かく マイピスト養成 マタイピスト養成 邦文を短期と

3-

貸間

登家 二葉町一五 高等住宅 三河町 正直洋行 を 西話 容質並に金融 西通三五電六六三大連案内社 西通三五電六六三大連案内社 を融度質は何んさ言つて を融度質は何んさ言つて 大黒町二二四 仁 芳 商 行 大黒町二二四 仁 芳 商 行

標花蜜電六六五〇 一七九番 チチ モミ二葉町六〇 鈴木丈太郎 電話四六九二番

婦人 病ハリ、キュウ 鈴木丈太郎 電話四六九二番 鈴木丈太郎 電話四六九二番

住宅

各種

粉木丈太郎 電話四六九二番

療治お望みの方は

製室のり 電話八六七五番 野楽アパート洋式室大小 野楽アパート洋式室大小 電話八六七五番 電話八六七五番

モミ

通勤家政婦 東京 後野 新子 大第直ちに登上致します

果 重富醫院 京哥 **電話七五二八番**

マチュアの

營業稅課稅

主

一華商は既に承諾

忠魂碑の建設

電が事務所に於て各方面代表者の鏡鏡忠鴻碑飛設问題に関し十三日

本社主能、輸入組合職合會後援の本社主能、輸入組合職合會後援の 事務所でおそ代理点、小質業者の

兵司令) 同上北寧

賊の一名は逮捕

三しが原販にさ連呼したの 窓に連捕した、彼は河北艦艦集生 るたせんさしたさる隣家の 笛に集まつた巡撃の應続で一名は 六平でも銀際輪時間其他二三を ために見事な帰職を遂げたが、呼でなる銀際輪時間其他二三を ために見事な帰職を遂げたが、呼でなる銀際輪時間其他二三を ために見事な帰職を遂げたが、呼でなる銀際輪時間其他二三を ために追ķるの應続で一名は 六平後四時頃撃天北市場下架 張潔峰(三とは賊と駆撃したがら男

(四)

滿洲紡績製造

在長露人の亂行暴露

春は鎭江山から

五龍背へと移る

一日の清遊に好適地

拳銃强盗共犯

れ機の若芽は整

撫中の退學生が 窃盗や詐欺横領

大きないる。 大きななな。 大きななな。 大きなななな。 大きななな。 大きななな。 大きなななな。 大きなななな。 大きなななな。 大きなななな。 大きなななななななななななな。

傳染病豫防心

東京鐵道局主催の滿鮮視察團一

◆…去る十二日午夜八時下過ぎ新 養州王子製紙會取削の江岸に終 養州王子製紙會取削の江岸に終

綿糸布の賣買禁止 遼寧財政廳より電命

赤に蹂躪される

五

安東主任 興任 常川電燈 安東主任 興任 常川電燈 安東主任 興任 常川電燈 春期清潔檢查

山氏結婚

斯界を刺戟

本社支社で先づ座談會

映畵會

十三日領事館送り

見學の上午後三時冊五分發旅

1/2

兵第三十八聯隊附に轉補された十六師劇副官を免ぜられ奈良歩本柿原大は〈前駐師劇副官〉 は第

五十分養北行した 金光教大祭 遼陽金光教

数師の誤数があるさ

◆:難に燃口縣管内二飛溝に放て 田莊繁配屯の第十九派及縣下安 田莊繁配屯の第十九派及縣下安 同第七分尉の窓に龍へられた贈 版性二惠、宋徽玉の二名は取職 の都果乗狀制明したので十四日

△ 安東歌謡の解り 「ない 本 其れならば ものさあつて大眼 はものさあつて大眼 がかかれて江口の希望がか でで江口の希望がか と 長、日出町四丁目の道路膨緩、東 な多比を極めることになった 街

滿洲を見て

褒める梅幸

安奉線で歸國

赤痢の豫防錠 消防隊から配付 して全部遊野に資徹じて居にさ 安奉禄中河口東南方十一支里風城

晩春の慈雨

一、順族の撲滅に努力すること 一、順族の撲滅に努力すること 一、下痢發熱の場合は直に警師の 診断を乞ふこさ 診断を乞ふこさ 診断を乞ふこさ

憲兵試験バス

従來一ヶ所であ る。而して共

電燈會社總會

と 金州大連間の幹線道路では大満な にしても動態が繰りに急気配であった にしても動態が終りに急気配であった にしても動態が接近さる際ごうしても を安に非常な不愉快な点ひさせてゐる を安に非常な不愉快な点ひさせてゐる を変に非常な不愉快な点ひさせてゐる を変に非常な不愉快な点ひさせてゐる を変に非常な不愉快な点ひさせてゐる を変に非常な不愉快な点ひさせてゐる といので要客

遂に紹命

を實施した 市街警備演習

満紡の小火

局の保險成績

閑院若宮殿下

等學校 十子部の主將さらて活躍し

順高女在県中運動家で鳴らしただ。お母さんの語。通り選子さんは旅

で優えなければ」 で優えなければ」 で優えなければ」

ポーイー人とか飛ばないでお機能

想のお婿さ

6

(21)

よりグツと下つて二圓九十銭から五四ご

お姑さん位あつた方が賑やか

森本温子さんのお母様の望みた、ホ・ス・ジャンアだのランド、ホ・ス・ジャンアだのランド、カースケートだのつて何や一矢張り酸へただいの、対陸様で幅は大鹽丈夫になったっさらやすんだ事もでいましたが背ばかり伸びてしまません。

べきのさもやすんだ事もございが り酸へただけあつ

やすんだ事もござい

で網筆を振

たりお針をもつたり

保累のない様 で、母の私さ で、母の私さ

東京市芝區田村町六七四番 無審東京八〇一〇番 振響東京八〇一〇番 振響東京八〇一〇番 振響東京八〇一〇番 上二四六番 一二四六番

東京藥院支店

東京藥院本店

着那町 え毛 親を 薬は 神腹に 薬は 7

ミナイン

い背の高

蕾は必らず

▲ 出来まず、唉いて了つた花ほみな のいら際花し十月一ばい大郷の下 のいら際花し十月一ばい大郷の下 校もく、りつけて置きますさごちありません、花は早いので六月末でから風が吹いても飽きれる事がでいたは早いので六月末でから開発し十月一ばい大郷の下では、

したら支柱を中心に四本の支柱を立てて上を真ん中の支柱に一ケ所にくくりつけます、恰度新に山陰にしケ所になるという。 に一遍位水肥"やつたがいくのでしては一遍位水肥"やつたが突く噴まではその後は一週ですがその後は一週ですがその後は一週ですがその後は一週では

鯖料理の粹 大阪で白慢のお壽司 (平岡奥平治氏談)

又思部の懸質は皮膚呼吸の障碍となり健康を













社會式抹菓製治明

(日曜土)

幸区

MK

して養芽しますからいよく、本植りかぶせます、毎日如露に少しづりかぶせます、毎日如露に少しづりかぶせます、毎日如露に少しづ で、気は徳一尺二寸深さ一尺位に 受けて生育が速かです。さ 等が一尺が至四尺位あければなりませ とづいかけて、赤の伸びるに從つて尖に変花ですから株と株との間は くかけず、赤の伸びるに從つて尖に

立てく欲しい

くなるにつれて総和の機能が低かした。 でがける事もなく板が尺がに搬が を嫌げる事もなく板が尺がに搬が でがなったります、大き でもますさ、板が花の生長

ます。クラウン(山)の浚いこの帽子は冠るさいふより、載せたの無いトオク慰さ、極端なこの二つが我物館に脱砂棚を埋めてる題化が見えます。アリム(縁)の澱いアマゾン慰さ、全然ブリム年の夏の婦人帽は?メリのモードをうけて塾の上に思ひ切つた

統の期かに明るいものが若いのです。色はローズとブルウ つた感じで、理智的な観のは記るさいふより、載せた ます。帽子の材料は主さもの)も一般に迎へら

は血液を悪化し

害し、往々意気 所薬界に一大紙 というである。 という

の餘病をも引起しますから、

を與へた新權威樂「テー

ム水」の三大作用に

整定は にない。 永年困難に ない。 大年困難に

原固症をも此際氣持よく退治せられよ、初期

午後三時。倦怠

1

活用の時

\$1E21

賢元へ御往交も

店にて販賣す萬一品切の節は代金を添へ左記録三十錢、五十錢、一圓、二圓、浣料內地六錢ヨクなります。

たの等が今年のモードです。値段は昨れ真田が用ゐられ、トオク型に大真田が用ゐられ、トオク型に

五年六和

、で無砂から本植に致しますとなく養芽しないものがあり、世代養芽しないものがあり、様性物で

た土で覆ひまて、よく支柱では、情(支柱)を立、球板の芽を直そ 方法と注意の數 支援を表した。
大変を表した。
大変を表した。
大変を表した。
大変を表して、
大変を表して

と、注意さた申上げませう。 とのが、 いまに迎へられるやうになりましたが、 いをこれからを、 実底に迎へられるやうになりましたが、 いをこれからを、 とのが、 といのこ花期のながいのこでダリアは年々一般の だが美しいのこ花期のながいのこでダリアは年々一般の

モノ ヲ モッテ イコウ」

太郎ハ スグ

シュツバツノジ

ヒコウキ

キタワリ

共に日本一

モツテキ

ドジンラ

膚病退治

日

丸

ユ

次

朗

とよに三ッづ、付きますから剛鵬 の小さい驚は缺ら取つて真ん中の です。桜の出法は繁生で一つ置き に四がに出て來て更に一枝から三 に四がに出て來て更に一枝から三 な本か四本づ、の枝が出ますから剛鵬

さつきはじめの陽は 雨晴れのしめりよろ さつぎに咲き出ててあばれ此國の春逝かむこす ※ 洲短歌同人 柿 徂

室のちに蠅一つ飛びぬて静けかり祭のぞよぎ遠くきこゆる 日亦なすなくすぎぬ病みこやる枕邊くらく 支柱に結びつけ相當成育

充ちたらふ室の中に鉢の金魚は上泳ぎせり いかく鉢の水ねるみけらしな金魚死におり

うだつたら水を遭る必要はないの の要は日中は一寸萎れた様に見え の要は日中は一寸萎れた様に見え をい花をつけます、次は水の興へたい花をつけます、次は水の興へたですがダリアは繰り水をやりすがらて額りますから株の根元の土が白く乾いたら上をシャベルで少さるこ為りますが無かつたら につき五合

初めは一株

本

江

チョイとつけた腹汁の中にも、顕微鏡で照明すると、勢知れな皮膚病の正體は、目にも見えない微生の菌虫である、針の先へ皮膚病の正體は、単にも見えない微生の菌虫である、針の先へというなど、



ーム水の作用

では、 をの業ででは、 をの業で攻撃するけれども、 をの業で攻撃するけれども、 をの業で攻撃するけれども、 をの業で攻撃するけれども、 をの業で攻撃するけれども、 をの業が出て、近頃出来たテームなるを付けら 大躍敵で、テームなを付けら れたが最後吾々の種族は所詮されたが最後吾々の種族は所詮されたが最近には一





治明 ルメラヤキクルミ

あたし上手でせう 物價の大勢に順應したる正償 的画 8

に毎樽ー 呈





股下の平時的な御性格は勿論ですが長いこさには感心しました、股下には恐躍に堪へませんでもが 名まで副記憶になってあられる には恐躍に堪へませんでもだ。 には恐躍に堪へませんでもだ。 には恐躍に堪へませんでもだ。 席上は頗る御いきで學生時代の ましたが席上一番年少の中村 対ましたが席上一番年少の中村 でなりますだめての物ないこさ になりますだめてあれる

吉岡選手を招聘

| 要 | 明年殿府に関く | 手決定のため六月十九日顧府の

國際選手權豫選に

高松宮様は終始

日本語で御挨拶

石川宮家別當の謹話

在滿諸君は特に

健康が大切

日

满

滿鐵馬術部勇士

局等馬術等を台覽

闲院若宮殿下市内を御視察後

關東倉庫馬場に御成

君(大廣場校)字澤達雄君(春子 吉井清高君(朝日校)湊祥

男女二名の郷藤優良見童な推蔵し 東朝大朝殿新聞社では昨年日本最

された表彰してゐたが本年度もまたこれが表彰してゐたが本年度もまたこれが表彰をなすべく全國的に 郷費を開始し満帯においては満洲 年来溶線より左毛にろうして

大火御

救恤金

乗越の妙技
「佐)滿鎚馬術部勇士の障碍物下(左)滿鎚馬術部勇士の障碍物 閑院若宮殿下

ましになり色々中學時代の思ひ出ましになり色々中學時代の思ひ出ましたが、一局に對して「滿天」を記されてい、」と何願 も頗る御覧を遊げされ一同と御歌といいました。 ートコースに入つて同窓生一同はた、更に同七時や席を變へてデザ れに答へられたのには一同感激しの健康の為めにして盃を繋げてこ

とく御居間に御職りになった に入れて同十時半殿下は例機搬 に入れて同十時半殿下は例機搬 を になり最後に一同より窓書を研覧 になり最後に一同より窓書を研覧 高もので満十一年八ヶ月にもて身長日四十九種六(河四尺九寸三分) を日四十九種六(河四尺九寸三分) を日四十九種六(河四尺九寸三分) を日四十二年八(約二尺十二次) 脚陸七十二種八(約二尺十二枚八(約二尺十二枚八(約二尺十二枚八(約二尺十二枚八(約二尺十二枚八(約二尺十二枚八(約二尺十二枚八(約二尺)

一大學軍が來る

今年の明大は素晴しい出來

甲九間ら途が

から來た電単が

電車から客の一人が

満俱中澤氏の歸來談

時らしい人氣を呼び演藝に七十五日間開催されたりせたりする施設からたり汽店の館とからたり流送物へば大連港の町があるためでは、日本の館を動からなり流送の町の地の館というできない。

保事工業博覧會もこれに劣らぬ 人織を呼びました、多忙のため 人織を呼びました、多忙のため でしたが、明治對アラメダ、酸 でしたが、明治對アラメダ、酸 がので見ました、明大の鬼場が 作ので見ました、明大の鬼場が 作ので見ました。明大の鬼場が たっで見ました。明大の鬼場が たったりましたが果して早大を破っ なりましたが果して早大を破っ なりましたが果して早大を破っ でした野君や辻君もご思つて なりましたが果して早大を破っ でした野君や辻君もご思つますがら著っへ ないちゅうがこ思ひます、然 たったりました。 終日滿員 でした、東京の

だった。 自兵戦は境の夢を破って射器に展 がなって射器に展 グ戦速報

六五六○▲泰東洋行(電四六十七九)▲永龍洋 会場にて開催されるが射紫料は含 日午前八時中より寄日海市民射撃 日午前八時中より寄日海市民射撃

お寛ぎの御歡談に一同感激

私共の舊回に組江さいか先生が 居まもたがごの人が曾て病氣で 東京の軍警病院に入院して居た こごがあつたのです、今日の席 上殿下は「いつか軍警病院の入院とて居た ではないか」これます。 ではないか」とれます。 ではないか。 ではないが、 ではないか。 ではないが、 ではないがないが、 ではないが、 ではないが、 ではないが、 ではないが、 ではないが、 ではないが、 ではないが、 ではないが、 ではないが、

支那式市街道に城原を中心さした 支那式市街道に城原を中心さした 支那式市街道に城原を中心さした 大部式市街道に城原を中心さした 大部式市街道に城原を中心さした 名職品に重報板を続け速

金州城攻防演 本月下旬駐満師園が

銃射擊大會 が、部と、長春に歌つてから日 が、部と、長春に歌つてから日

洗ひ

時れする

り、次いで大連競馬仏楽部より台 ルに御煙運遊げされた 数部して原の海尾が 一角を開いた 数離しく同五時四十分ヤマトホテ が出立って台覧に供したが 級の新居一頭を御覧になって御機 が十五分に亘って台覧に供したが 級の新居一頭を御覧になって御機 御出身校小田原中學同窓生 奉迎晩餐會で御激勵 御記憶力お强く 平民的な御性格 め本日午後アトロイトより管地キャニオン行列車へ御乗換のた 五分東京聯御發車午後二時二十日午後一時五分宮城御出門同十 葉山へ行幸啓 十日間回地に御滯在二十五日 高松宮兩殿下 下には順宮標御同伴にて十五集山十五日候』天皇、皇后兩 激松市の全國博覽會並に東京の化

アラメダ だけで六月二十七日頃ファースト、ゲームをやる像定です。六大學の方では早慶明の三チームの中の二チーム

にて延順等年後二時頃よりそれ、第6の解認在派美人總出廊の下、第6所を見登した

日自動車は整に分乗來旅大正公園

旅順を見物 料理屋大會一行

輕陽者七名を出した

通行中袋叩き

は大破されるの為

滯坑爭議團檢學

不法監禁の

嫌疑で

日

相

イた

バーチカル

二日目の勝負

本店

(大阪群東北) 山岡發動機工作所

(製造直卸)

高ノボの記する 陸ノ和 五日發】大相撲二日目勝 光

ステッキ組は一本四十銭でシュトラマ買つても無難だつたが、骨があさりの部長、それからそれを骨が出の説明を聞かされたが気に入つたものはサッパリなかったらしい、是非一つ買って貰ってちらい、是非一つ買って貰っている場合である。

金六千回也である、棚壁らず部り出されたのが藤東坡の書軸で 古成質塩の四十萬塩にでしたから地とは間では、 もらしたから地とのが輸出一般にでしたが終出一般にでしたがら地とのが輸出一般としたがらが検出一般としたが終出一般にでしたが、 つささ瞬つた れは外國人は勿論支那人にも

根

眼

科

醫院

藤市信息

優れ たる Ł 0 必ず勝

ツセフォ 各府縣農會農事試驗切農林省推薦機 御指定品 丰 ギム 0

獨得の特殊作用 安全短時日 大阪市北區曾根崎大阪市北區曾根崎 る確實の に應用の目的を達 効力を有 用を以り

二百十數戶燒~ 市內賣捌所 發』十五日午後三時 六日午後七時半 大火 後拨 主催 滿鐵社員俱樂部 滿 洲 日 報 社 演奏會 協和會館 電七一七八ン◆森洋行(電三九三二)◆時久洋電二二三一)◆日本橋本二二三一)◆日本橋本二二三一)◆日本橋本 隨 世 関政良委員會は十五日午後二時より 7根集、総管祠保存會の記載につき協されが美観を描せざれ程度にていまれたが美観を描せざれ程度にていまれたが美観を描せざれ程度にていません。 これの こう はい こう にん こう はい こう にん こう 本 る十七日午後五月郷り級で後大連 ・ 運動場にて懸行のはず 大連乃木倉では十六日午後六時代よりは十四回駐丁祝賀倉を開くがその駆逐は左の通り 法确山兄玉旭静、薩摩琵琶橋溝を、一大、飛鮮、籌漁(関リ軍司令部、兵人、飛鮮、籌漁(関リ軍司令部、兵人、飛鮮、籌漁(関リ軍司令部、兵人、飛鮮、籌漁(関リ軍司令部、兵の順序は左の通り 大法寺の遠忌 塔守宿舍增築 大連市公 大倶、工大ラグビー 壯丁祝賀會

五日午後二時よ

新潟

道思 沙河口大

進電

洋三八二番

まれ河中に

奉天勝 對撫順野球戰 七で 十八日午後一時より四季藤四天王上稲荷大祭、三時より法話、同七時十八日午後一時より鬼子田蔵、局七時十八日午後一時より鬼子田蔵、局七時十八日午後一時より鬼子田蔵、最十八日年後一時より鬼話、同七時十八日年後一時よりと話、三時 洲際教印絵で間板大僧正の代理滿特に管長鷹井月覧大僧正の代理滿 特に管長鷹井月覧大僧正の代理滿

飲料 数强

職に御ないのでは、 北流に御ないのでは、 北流にのでは、 北流にのでは、 北流にのできる。 北流にのできる。 北流にのできる。 はいのでは、 はいのできる。 はいのでも。 はいでも。 はいでも。 はいでも。 はいでも。 はいでも。 はいでも。 はいでも。

一百圓な同

電車

追突し

六名重輕傷

電子における本年野殿・無野野 を下における本年野殿・無野野 戯曲作家へ氏 10日登』有名な戯曲作家 (ニュー

京東

桐簞笥

Chita Continued and the Contin

『東京十五日餐』十五日午後一時 百二十餘名が冬摩御陵に参拝の節 百二十餘名が冬摩御陵に参拝の節 後近野中央電鏡八王子後一時

引率中日文化協會附屬女子本社 参觀(十五日) 藤 藤原教

産紅葉ののステ で着は吉敦線名

はせた(健者さも物らの職送四、五名に脱々数呼きにあって全身に打物像を貫ひ沙沙二器に騙け込み救物、その時は既に職変助が乗めたが、その時は既に職変がなりたが、その時は既に職変がなり、五人は数を暇まし行方不明さてつて 市内沙河口蔵町十三丁目北州四滿市内沙河口蔵町十三丁目北州四滿 が論である。 がはた、これにはそのっては、 が論である。 が論である。 がは、これにはそのっては、 がいがに、これにはそのっては、 がいがに、 でいる。 でい。 でいる。 でい。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でいる。 でい。 でい。 でい。 でい。

からのこと、随いれて日本ではいる。

場馬ルトクド 院 醫 江庄場馬 八七五八話電·話搖盤常連大 京桐館筒 カンノ家具店 東番線 東番線 東番線 東番線 東番線 東番線 東番線 東西 カンノ 家具店

にはさりるさ **有清算人 松 崎、隆 義** 煙草の覇王 8 界各 品し出突 地名 图 406 酒 き境か花か 童 類 食

『東京十五日巻』十四日の歐洲プーンテ盃戦第二回戦。織たの城と 「ルテ盃戦第二回戦。織たの城と

ニニビュネテス

戰々績

177

雄少

年

口

スロデザー(六一四)スペンス(南)

州内小學校から

健康優秀兒六名

關東廳學務課で審査

帝王の煙草

店商川西

料品

發

元曾發

大



